

毎年、1万人以上の修学旅行生を受け入れる日本有数の
農業地帯、世界遺産、滞在型観光地として地域創生！

2019年度第3回(通算137回)
農山漁村コミュニティ・ビジネスセミナー

「どこか懐かしく温かな気もちになる農村民泊体験」
日本有数の農業地帯が行う農泊事業

日時

2019年9月10日 | 火 |
午後1時30分～午後4時30分

講師

一般社団法人
南島原ひまわり観光協会
鴨内 悟史 氏

場所

都市農山漁村交流活性化機構会議室
(東京都千代田区神田東松下町45)

参加費 2,000円

令和元年度第3回目の農山漁村コミュニティセミナーは、南島原ひまわり観光協会の取り組みを通じて、農林漁業を中心とした魅力的なグリーン・ツーリズムの推進による農泊事業の展開方法を学びます。南島原ひまわり観光協会は、2008(平成20)年10月設立以来、一次産業が盛んに行われている地域の魅力を生かしたグリーン・ツーリズム事業を推進し、農林漁業体験民泊を増やして都市部からの修学旅行生の誘致に取り組みました。民泊の修学旅行受入5万人の突破は、誘致から7年で達成しました。後発の取り組みですが、毎年努力しつつ経験値をあげて急速に成長してきました。地域への経済波及効果は、総務省の2011(平成23)年の産業連関表で換算すると2017(平成27)年度実績で2億円を超えています。農家民泊によって直接的に農林漁家だけが潤うのではなく、その他の観光産業や近隣のスーパーやガソリンスタンドなどにも潤いをもたらしています。2009(平成21)年に県のグリーン・ツーリズム推進地域に認定され、同年に農林漁業体験民泊の営業を開始(6軒)。2011(平成23)年9月には修学旅行の受け入れを開始しました。その結果、2017(平成27)年度には年間1万人を超える実績を上げています。春は関西地方の中学生、秋は関東地方の高校生がやってきます。専業農家が多く、農家民泊受入家庭代表者の平均年齢は60.9歳、20代から80代と幅広いのも特徴です。四世代同居の拡大家族もあり、後継者がいる家庭が多いことから、将来的にも継続性・発展性の点でも注目されています。こうした取り組みにより、南島原ひまわり観光協会は、2016年度第14回オーライ!ニッポン大賞を受賞しました。

【お問い合わせ・お申込み先】(一財)都市農山漁村交流活性化機構 電話：03-4335-1985

<http://www.kouryu.or.jp/>